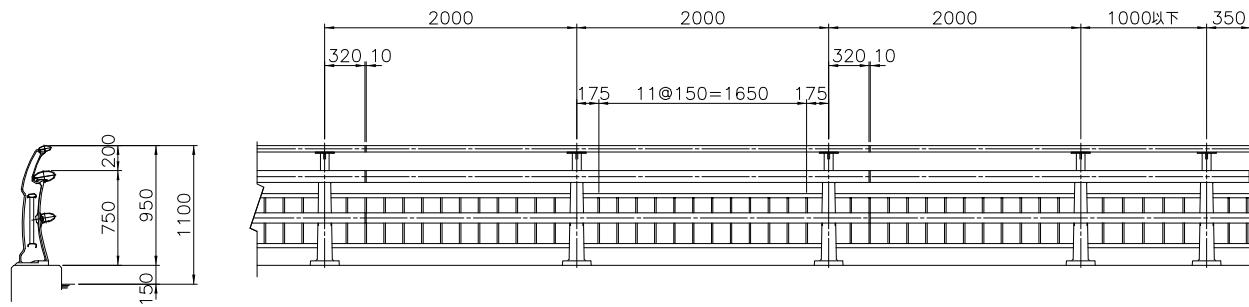
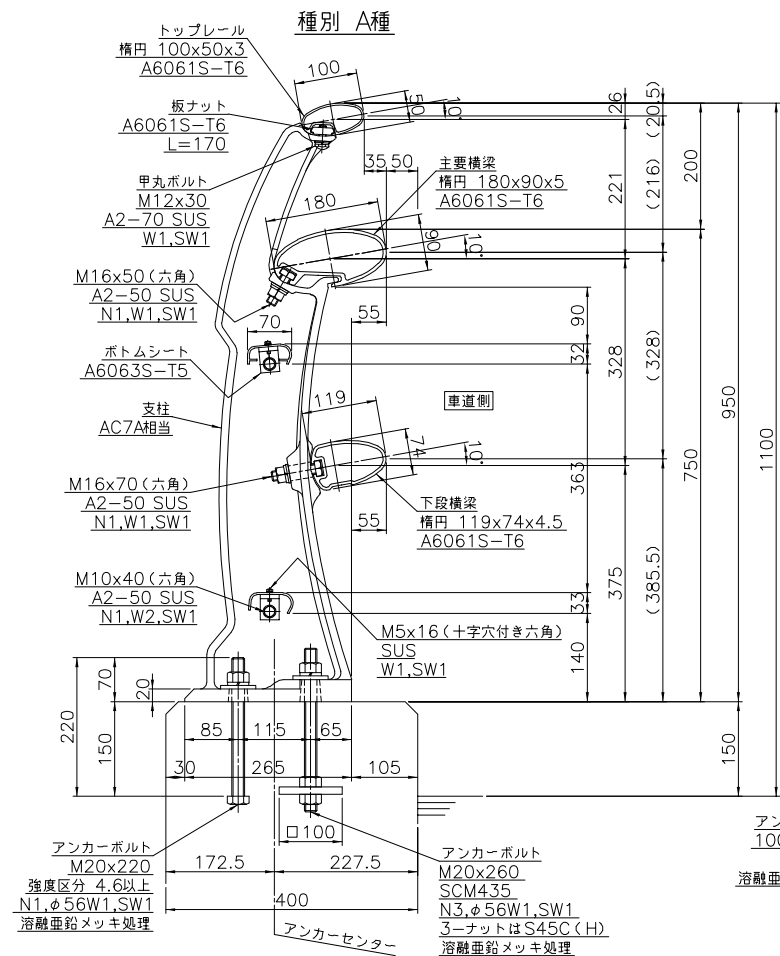


姿 図 S=1/30

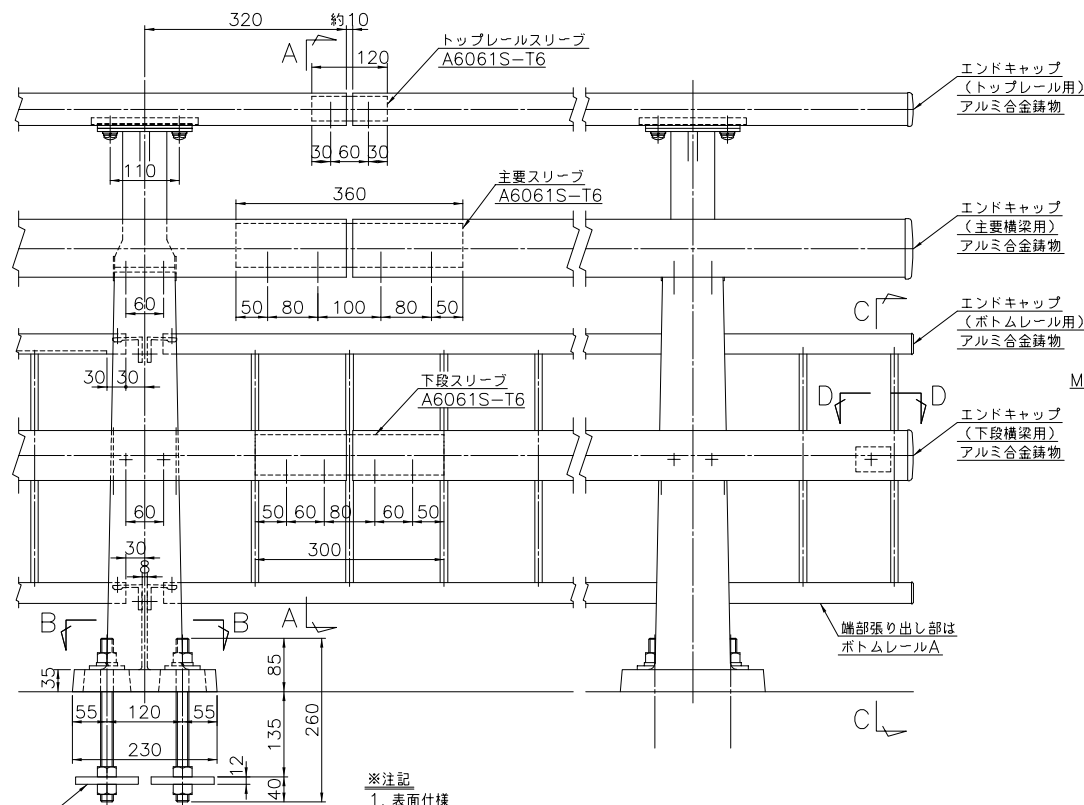


高欄兼用
車両防護柵取付詳細図 S=1/6



継手部

端 部

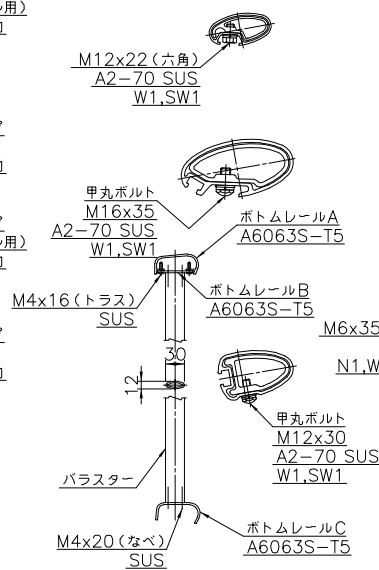


※注記

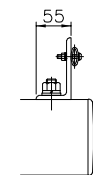
- 表面仕様
主要横梁、下段横梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、支柱は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、色調は別途打合せとする。
- 本防護柵の設計・製作仕様は、（社）日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成
「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」（平成30年6月）、
「アルミニウム合金製橋梁用防護柵製作・施工要領」（平成27年3月）による。
- 本防護柵の支柱は、レベル用を示し、0～2.5%勾配に使用とする。
5%用は2.5%～7.5%勾配に使用とする。

コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

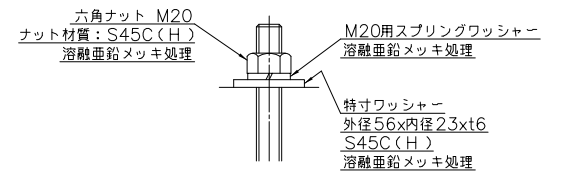
断面A-A



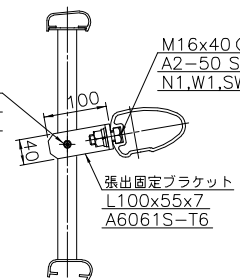
断面D-D



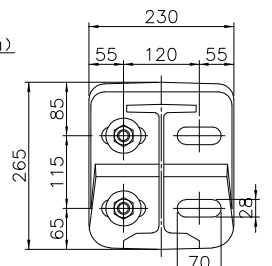
アンカーナット締め付け部 S=1/3



断面C-C



断面B-B



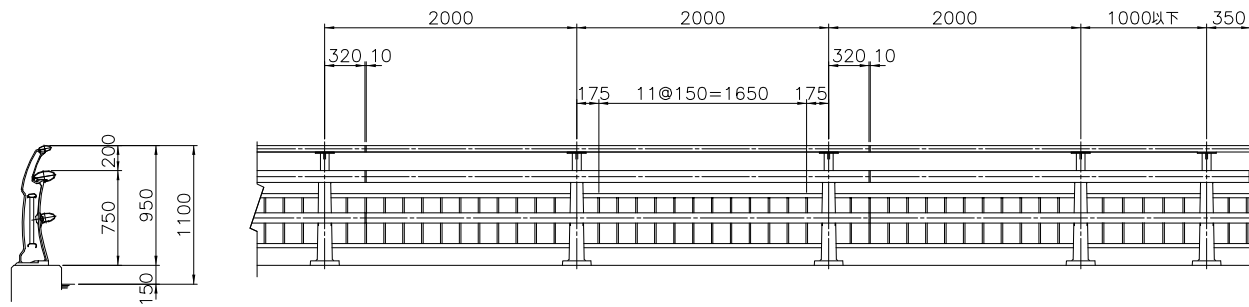
日軽エンジニアリング（株）

NA-32EB-95N

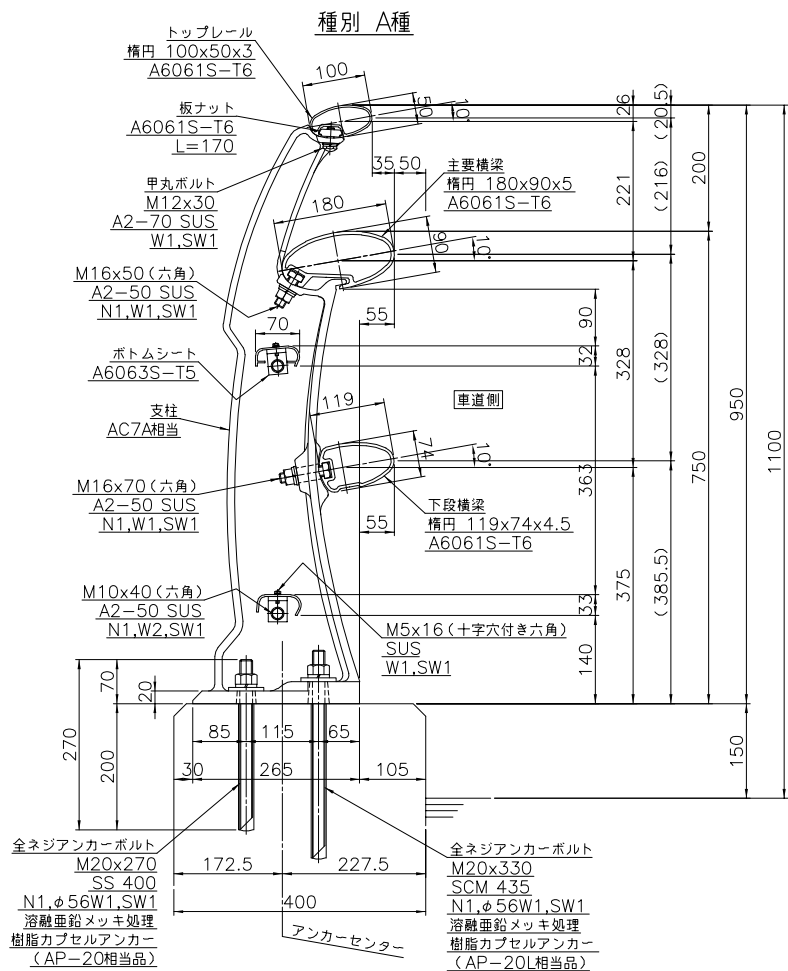
高欄兼用車両防護柵 A種
3本ビーム＋格子付き H=950mm
ナット締め付けアンカー式

2025年2月

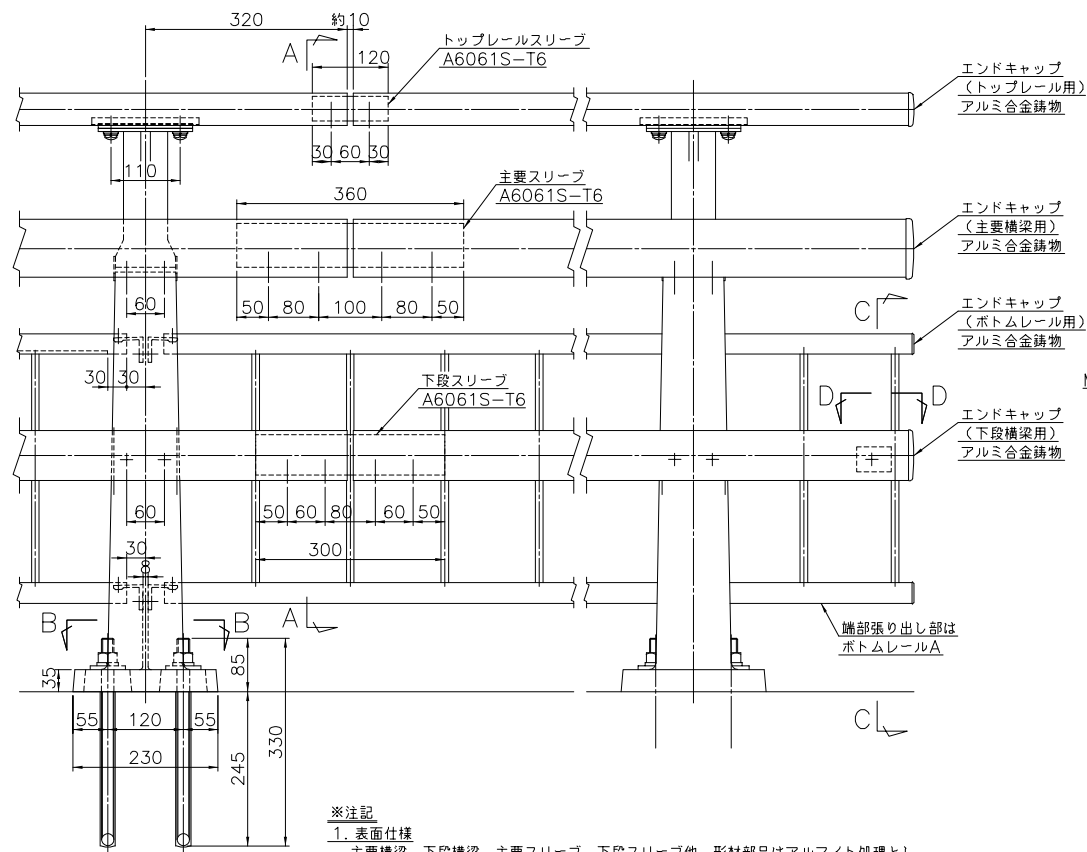
次 図 S=1/30



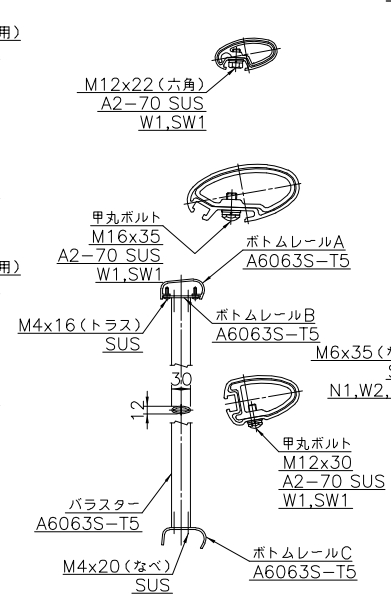
高欄兼用
車両防護柵取付詳細図 S=1/6



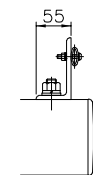
繼手部



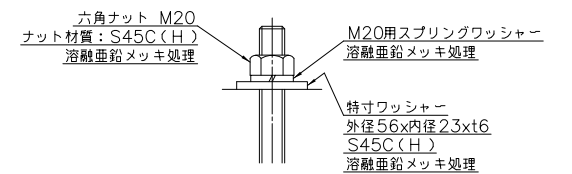
端 部



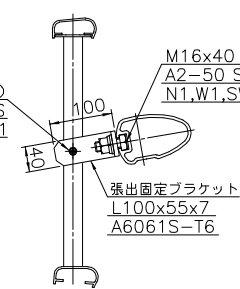
断面 D—D



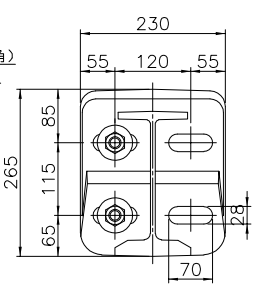
アンカーナット締め付け部 S=1/3



断面 C—C



断面 B—B



※注記

1. 表面仕様
 主要構梁、下段構梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、
 支は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、
 色調は別途打合せとする。
2. 本防護欄の設計・製作仕様は、（社）日本アルミニウム協会「土木製品開発委員会作成
 「アルミニウム合金製構梁用防護欄設計要領」（平成30年6月）、
 「アルミニウム合金製構梁用防護欄製作・施工要領」（平成27年3月）による。
3. 本防護欄の支は、レベル用を示し、0~2.5%勾配に使用とする。
 5%用は、2.5%~7.5%勾配に使用とする。

コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

日軽エンジニアリング（株）

NA-32EB-95CH

高欄兼用車両防護柵 A種
3本ビーム+格子付き H=950mm
樹脂カプセルアンカー式